

# FMアップルウェーブ 第90回放送番組審議会

開催日時 平成27年2月14日(土) 12:00~13:00

開催場所 土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員 委員長 石岡 徹、副委員長 工藤 茂起  
委員 鳴海 清彦、佐藤 浩之、太田 真理子、高村 智子、大西 晶子

会社側出席者 代表取締役社長:清藤 哲夫、 専務取締役:一戸 勝美  
放送部統括マネージャー:花田 由香子、 放送部チーフ:玉田 雅規

議題 (1)番組に対する意見要望  
(2)次回開催日について 4月11日(土)

## 議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

### 1)課題番組 『夜はきままに!』(毎週月曜~金曜 20:00~20:59)

- ① 大学生が進行していたが、初々しさは良いが、公共の電波で放送するには喋りが稚拙すぎる。素人であっても自信をもって進行できるように、訓練の場を設けるなど仕組み作りをするべき。
- ② 「えっと」が多い。進行役が2人、ゲストが登場していたが、進行役の語彙力のなさが目立ってしまった。選曲の基準が不明。ひとりのアーティストを取り上げるにあたって、有名な曲があるにも関わらず、知名度の低い曲を選んでいった。多くの人に向けて放送するのだから、まずはなじみのある曲を紹介してみてもいい。
- ③ 1時間通して聴いていられなかった。選曲がわかりにくく、仲間内だけで進めている印象。公共の電波で話すには、研修を踏まえるか、スムーズに進行できる人が入ってきちんと進めるべき。緊張が出てしまっていた。
- ④ 進行役が、生放送が無理であったのでは。生演奏があったが、その段取りの悪さも放送に出てしまっていた。大学生らしさは伝わり、アカデミックな内容の部分はあったが、進行の不慣れさが目立ってしまった。もっと弘大フィルというのがどういった団体なのか、どんな活動をしているのかが伝わる番組の作り方をしてほしい。
- ⑤ 漠然としている。学生のための広報なのか。何を伝えたいのか、誰に伝えたいのか不明。ポイントを絞って放送するべき。
- ⑥ 聴いていてつらい。何をやりたいのかがわからない。文化都市弘前にある「弘大フィル」がどんな活動をしているか、その時の様子をもっと聴かせるべき。進行役2人のトークがうまくかみ合っていない。事前の打ち合わせをしていないのではないのか。
- ⑦ 全体の流れを把握したうえで進行していない。やはり研修の場を設けるなどし、聴きやすい番組をつくっていくべき。作曲家の話や生演奏があるなど、きちんと組み立てていけば興味深く、アカデミックな内容になったはず。ラジオでバイオリンの生演奏は難しいはずだが堂々とやっていた。

### 【審議機関の答申または改善】

CASTの番組は素晴らしいものもある。CASTの番組を精査し、今後の制作について話し合いの場を設けるなど、改善にむけての対策を検討する。

### 【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1)議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2)FMアップルウェーブのホームページに掲載